

2. 主要果樹の樹園地評価支援ツールの開発			
[要約] 主要果樹の樹園地評価支援ツールを開発した。ツールは、樹園地の属性入力、園地状態の入力、貸借条件の設定並びに評価結果の表示・印刷の4場面で構成され、質問に対して該当欄をクリックするだけの対話形式なので、操作が容易である。			
研究室名	経営研究室	連絡先	0869-55-0271(内線280)

[背景・ねらい]

貸借に伴う樹園地の客観的な評価は難しく、このことが樹園地の流動化を難しくしている要因の一つになっている。そこで、市販の表計算ソフト（Excel）を利用し、容易に樹園地評価ができる支援ツールを開発する。

[成果の内容・特徴]

1. 評価できる樹園地は、モモ園、露地ブドウ園及びナシ園の3種類であり、点数だけによる評価表示と小作料の目安となる料金併用表示の2通りを可能とした。また、本ツールは、①評価を行おうとする樹園地の属性入力、②評価項目（共通13項目、作目別4項目）ごとの樹園地状態の入力、③料金併用表示の場合に利用する貸借条件の設定・入力並びに④評価結果の表示・印刷・一覧表への登録の4場面の構成とした(図1)。
2. 操作は、樹園地の属性である所在地、所有者、面積並びに料金併用表示の場合に限り金額のみキーボードから入力する必要があるが、他はすべて質問に対して該当欄をクリックするだけで済むようにした(図2)。
3. 評価結果は、17の評価項目ごとの点数と総合評価としての合計点が表示できる。また、料金併用表示の場合は、10a当たり及び当該園の面積当たりの小作料目安金額が表示でき、希望によって一覧表への登録も可能とした(図3)。

以上の方法によって本支援ツールを利用すれば、容易にかつ短時間に樹園地一筆ごとの評価が可能になる。

[成果の活用面・留意点]

1. 本支援ツールを利用すれば、実際の樹園地貸借の場面では貸借双方の主観が排除されるために合意形成がとりやすくなることから、農業委員会等での貸借斡旋の道具として利用できる。

[具体的データ]

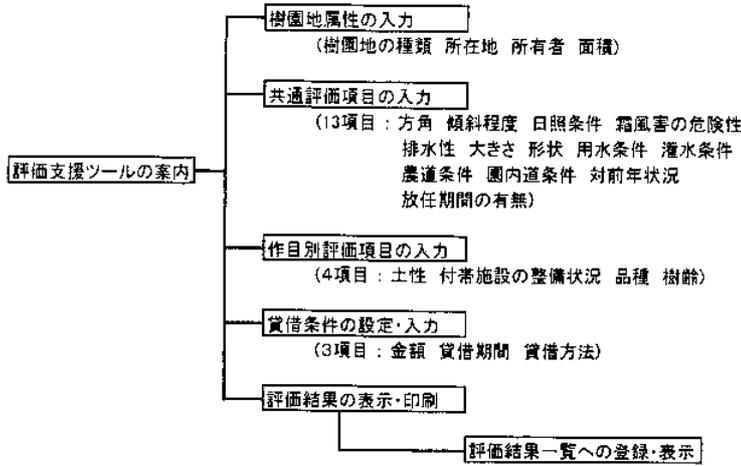


図1 樹園地評価支援ツールの構成内容

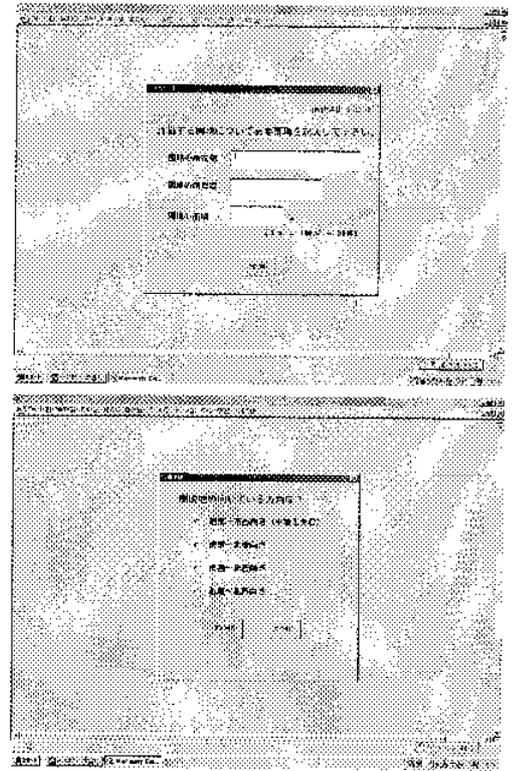


図2 支援ツール画面の一例

評価年月日: _____
 樹園地の種類: ぶどう園
 樹園地の場所: 赤磐郡山陽町神田沖
 所有者: 岡山太郎
 面積: 46.50 a

評価結果一覧

項目	評価点 (満点)	備考
生産条件		
1. 自然条件		
(1) 方角	2.64 (2.64)	南東～南西向き(平場を含む)
(2) 傾斜程度	6.76 (7.51)	傾斜8度未満
(3) 日照条件	5.78 (5.78)	良好
(4) 霜風害の危険性	2.02 (2.54)	低い
2. 土壌条件		
(1) 排水性	4.51 (5.58)	普通
(2) 土性	4.06 (4.06)	壤土
3. 作業条件		
(1) 大きさ	8.52 (8.52)	10a以上
(2) 形状	4.36 (4.36)	四角形
(3) 用水の確保状況	6.49 (6.49)	畑灌以外の水源あり
(4) 灌水装置の設置状況	4.07 (7.00)	灌水装置なし
(5) 園地までの農道条件	12.07 (12.07)	幅員2m以上農道あり
(6) 園内道の整備状況	3.29 (4.66)	運搬車走行可能
(7) 付帯施設の整備状況	3.05 (4.66)	トンネル栽培園で、棚の補修が必要。防風施設あり
樹体条件		
(1) 品種	9.63 (9.63)	ピオーネが主体
(2) 樹齢	4.86 (6.69)	11～15年生の樹が主体
(3) 前年の収量・品質水準	3.12 (3.55)	近隣園と同程度
(4) 放任期間の有無	4.26 (4.26)	なし

総合評価: 89.49 (100.00)

【解説】
 最も条件の良い樹園地の料金を次のように設定しています。
 10a当たり 40,000 円
 この場合
 10a当たり料金目安及び当該樹園地の料金の目安は次のとおりです。
 10a当たり料金目安 35,796 円
 当該樹園地の料金目安 166,452 円
 また
 貸借期間と貸借方法を考慮すると料金の目安は次のとおりです。
 貸借期間: 10年以上
 貸借方法: 農用地利用増進法による
 10a当たり料金目安 35,796 円
 当該樹園地の料金目安 166,452 円

図3 樹園地評価結果の表示例

[その他]

試験研究課題・事業名: 果樹産地再編に対応した担い手確保支援システムの確立
 予算区分: 県単
 研究期間: 平成11～13年度
 関連情報等: なし